RMANによるイメージコピー形式でのバックアップ

【注意点】

イメージコピー形式でのバックアップでは差分増分、累積増分は指定出来ない

RMANでイメージコピー形式のバックアップを取得しても、バックアップされたファイルの名前は、取得対象元の物理ファイル名とは異なった名前が付けられる

【バックアップ運用】

業務のバックアップ運用は、定期的な間隔でのフルバックアップ（イメージコピー形式）を取得し、次のフルバックアップ作業までの期間についてのデータベース更新履歴情報は、オンラインRedoログとアーカイブRedoログを用いて更新データを確保する

【障害復旧作業】

障害復旧作業は、フルバックアップ（イメージコピー形式）をリストア処理した後、オンラインRedoログとアーカイブRedoログを用いてリカバリ処理を行う